

ネコちゃんが気を付けたい腎臓病のはなし

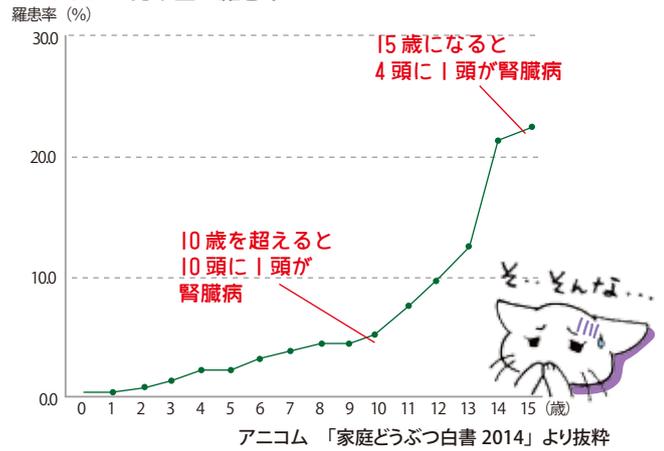
ネコの腎臓病は、年齢とともに増加します!!

ネコちゃんは生涯のうち、3頭に1頭は腎臓病になると言われるほど、腎臓のトラブルが多い動物です。腎臓は心臓とともに一度機能を失うと回復が非常に難しい臓器です。

ネコちゃんと長く、幸せに暮らすためには早期に腎臓の異常を見つけ、治療を開始することがとても重要です。

秋の健診でネコちゃんの腎臓の機能のチェックをしましょう。

ネコの腎不全の罹患率



こんな症状はありませんか？～慢性腎臓病のサイン～

水をよく飲む



おしっこ回数や量が増えた



痩せてきた・毛並みが悪くなった



こんなとき、腎臓病の可能性あります!

慢性腎臓病が進むにつれて・・・

病気の進行 → 悪い

ステージ	ステージⅠ	ステージⅡ	ステージⅢ	ステージⅣ
腎臓の機能	100%～33%	33%～25%	25%～10%	10%以下
症状	元気 	おしっこが増える 水を飲む量が増える 	食欲低下 元気がない 毛並みが悪くなる 	貧血 よく吐く
検査	尿比重			
	1.035	低下	1.008	
	腎臓病の進行とともにおしっこが薄くなります			
BUN・Cre (血液検査)				
正常	異常	腎臓の機能が33%以下になると、BUN・Creの値が異常に高くなります		
SDMA (NEW) (血液検査)				
正常	異常	最新の検査項目です。従来のBUN・Creに比べて平均17ヶ月早く腎臓の機能低下を検出できます。		

ネコちゃんは、腎臓病が進行していてもなかなか表には現れません。症状が現れる頃にはすでに腎臓機能が大きく低下し、病気がかなり進行している状態なのです。最新の血液検査を受ける事で早期に異常を発見でき、適切な治療を行うことで病気の進行を遅らせることができます。

定期的な血液検査と尿検査で、腎臓病を早く見つけて治療しましょう!



ネコちゃんの 上手な♪採尿方法

ネコちゃんはおしっこのトラブルの多い動物です。
おしっこのトラブルの原因を調べるためには尿検査が必要です。
ここでは簡単なおしっこの採り方を紹介します。



①おしっこの最中に背後から採る

おたまやカップを使っておしっこをダイレクトキャッチ！
おしっこする前から構えるとネコちゃんがおしっこを止めてしまうことがあります。
おしっこが出てから狙いましょう。



②トイレの猫砂を少なくする

トイレの猫砂を少なくして、おしっこがたまるようにしておしっこを採りましょう。また、非吸水性の猫砂を混ぜておくとネコちゃんの違和感が少なくなります。



③ペットシートを裏返して設置

ペットシートを使うネコちゃんならば、ペットシートを裏返しにして置いておきましょう。おしっこが染み込まないので、たまったおしっこを採ることができます。

④トイレの中にスポンジや採尿シートを設置

トイレの砂の中にスポンジや採尿シートを設置しておきましょう。ネコちゃんがしたおしっこをスポンジや採尿シートが吸収するので、絞って検査に使うことができます。



⑤システムトイレを使う

採尿しやすいように考えられたネコちゃんのトイレも販売されています。頻繁におしっこの検査をするようになったら、この方法もオススメです。

システムトイレ



(C)ユニ・チャーム

予防薬のこと

ネコちゃんの健康を守るためには健康診断も重要ですが、予防もしっかり行いましょう。「レボリューション」を使うことで、体についてしまう寄生虫、お腹の中で増えてしまう寄生虫、両方を一度に駆除することができます。
月に1回の予防をレボリューションで行いましょう！

！レボリューション

ノミ・フィラリア・お腹の虫(回虫)を
まとめて 予防できるんです！！



2.5kg未満：¥1,400 / 2.5~7.5kg：¥1,500 (税別・1回分の値段)

予防薬は通年で使い続けることを推奨しています。

お薬は飼い主様・ネコちゃんに合わせて複数ご用意しておりますので、ご不明な点はお気軽にスタッフまでお問い合わせください。

